

# 四半期報告書

(第60期第1四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

**ゼリア新薬工業株式会社**

東京都中央区日本橋小舟町10番11号

## 表 紙

## 第一部 企業情報

## 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

## 第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

## 第3 提出会社の状況

## 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5

2 役員の状況	5
---------	---

## 第4 経理の状況

## 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10

2 その他	15
-------	----

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第60期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	ゼリア新薬工業株式会社
【英訳名】	ZERIA PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊部 幸顕
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小舟町10番11号
【電話番号】	03(3663)2351（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 遠藤 広和
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小舟町10番11号
【電話番号】	03(3663)2351（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 遠藤 広和
【縦覧に供する場所】	札幌支店 （札幌市白石区南郷通十一丁目南3番13号） 名古屋支店 （名古屋市名東区本郷二丁目173番4号） 大阪支店 （吹田市広芝町5番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第1四半期連結 累計期間	第60期 第1四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	12,859,548	15,340,461	53,317,844
経常利益（千円）	1,087,670	3,082,625	4,676,998
四半期（当期）純利益（千円）	889,546	2,435,617	3,982,226
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	1,223,162	2,947,973	7,457,917
純資産額（千円）	31,219,366	39,278,210	36,910,476
総資産額（千円）	76,126,721	77,482,414	78,246,849
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	21.52	58.92	96.32
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（%）	40.8	50.4	46.9

- （注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績及び財政状態に対して影響を与える可能性の高い主なリスクについて、新たな発生または重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月に発足した新政権のアベノミクスに対する期待感から、円高基調の是正、株価の回復が進み、輸出や消費者マインドに改善の兆しが表れておりますが、本格的な景気の回復までには今しばらく時間を要する状況であります。

医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましては消費低迷により市場競争が激化するなど、引き続きともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は153億40百万円（前年同四半期比19.3%増）となりました。一方、利益につきましては、営業利益28億53百万円（前年同四半期比218.0%増）、経常利益30億82百万円（前年同四半期比183.4%増）、四半期純利益24億35百万円（前年同四半期比173.8%増）と大幅な増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の海外売上高比率は、12.4%（前連結会計年度12.4%）となっております。セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、海外におきましてはTillotts Pharma AGの営業力強化により、引き続き売上を拡大いたしました。さらに国内におきましても、経口メサラジン製剤でトップの医薬品とするべく売上拡大を図り、市場シェアを着実に伸ばさせました。また、平成25年6月より販売を開始いたしました自社オリジナル新薬である機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド錠 100mg」は、アステラス製薬株式会社との共同販促の下、早期の市場浸透に努めているところであります。

以上の結果、当セグメントの売上高は98億15百万円（前年同四半期比22.4%増）、営業利益は31億83百万円（前年同四半期比105.7%増）となりました。

#### ② コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」につきましては、テレビCM等の広告宣伝投資を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を大きく拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼW」（清涼飲料水）は、ラインアップ強化を目的に平成25年3月に発売した「ヘパリーゼW粒タイプ」（栄養補助食品）も併せ、順調に売上を拡大しております。また、「コンドロイチン群」につきましては、競合品が多数ある中で堅調に推移し、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は54億67百万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益は9億12百万円（前年同四半期比124.2%増）となりました。

#### ③ その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、当事業の売上高は56百万円（前年同四半期比11.3%増）、営業利益は57百万円（前年同四半期比42.9%増）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、14億73百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間における医療用医薬品事業の研究開発活動の状況の変更は以下のとおりであります。

本年3月に機能性ディスペプシアを適応症とした製造承認を取得しました「Z-338（アコファイド錠100mg）」

につきましては、本年6月に上市いたしました。

(4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社グループの運転資金需要の主なものは、原材料、仕入商品の購入などのほか、製造費用、販売費及び一般管理費などの営業費用です。研究開発費は、販売費及び一般管理費に計上されております。一方、設備投資をはじめとして有形・無形固定資産などへの投資資金需要が発生いたします。当社グループはこれらの資金需要に自己資金及び社債の発行、長・短期借入金にて対応しております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	119,860,000
計	119,860,000

###### ②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	48,290,173	48,290,173	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	48,290,173	48,290,173	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	48,290,173	—	6,593,398	—	5,397,490

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,951,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 40,922,000	40,922	—
単元未満株式	普通株式 417,173	—	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	48,290,173	—	—
総株主の議決権	—	40,922	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式784株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する 所有株式数 の割合 (%)
(自己保有株式) ゼリア新薬工業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町 10番11号	6,951,000	—	6,951,000	14.39
計	—	6,951,000	—	6,951,000	14.39

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,367,129	5,102,203
受取手形及び売掛金	※2 13,625,561	※2 15,265,255
商品及び製品	3,030,860	3,679,542
仕掛品	781,165	688,796
原材料及び貯蔵品	2,730,033	2,732,443
その他	2,714,266	3,297,937
貸倒引当金	△12,142	△12,969
流動資産合計	30,236,875	30,753,210
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,415,707	6,368,344
土地	11,593,621	11,643,947
その他（純額）	3,211,226	3,198,277
有形固定資産合計	21,220,555	21,210,570
無形固定資産		
のれん	11,509,131	11,482,878
その他	1,112,814	1,133,376
無形固定資産合計	12,621,946	12,616,255
投資その他の資産		
投資有価証券	10,571,827	9,179,818
その他	3,646,415	3,773,765
貸倒引当金	△50,771	△51,206
投資その他の資産合計	14,167,471	12,902,378
固定資産合計	48,009,973	46,729,203
資産合計	78,246,849	77,482,414
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,308,199	2,635,546
短期借入金	15,250,508	12,942,008
未払法人税等	1,455,415	1,275,935
賞与引当金	1,287,824	710,786
返品調整引当金	105,777	107,940
売上割戻引当金	162,766	162,149
その他	3,257,250	4,553,082
流動負債合計	24,827,742	22,387,448
固定負債		
長期借入金	15,665,898	14,975,271
退職給付引当金	152,739	155,689
資産除去債務	73,043	73,208
その他	616,950	612,585
固定負債合計	16,508,630	15,816,755
負債合計	41,336,372	38,204,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	30,598,262	32,455,129
自己株式	△7,320,508	△7,321,949
株主資本合計	35,285,897	37,141,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704,955	708,422
為替換算調整勘定	735,520	1,235,309
その他の包括利益累計額合計	1,440,475	1,943,731
少数株主持分	184,102	193,154
純資産合計	36,910,476	39,278,210
負債純資産合計	78,246,849	77,482,414

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	12,859,548	15,340,461
売上原価	4,616,367	4,162,396
売上総利益	8,243,180	11,178,064
返品調整引当金戻入額	112,917	105,777
返品調整引当金繰入額	103,800	107,940
差引売上総利益	8,252,297	11,175,900
販売費及び一般管理費	7,354,843	8,322,118
営業利益	897,454	2,853,782
営業外収益		
受取利息	1,619	2,402
受取配当金	171,314	158,316
為替差益	31,880	101,866
その他	66,703	32,650
営業外収益合計	271,518	295,235
営業外費用		
支払利息	71,215	58,772
その他	10,086	7,620
営業外費用合計	81,301	66,392
経常利益	1,087,670	3,082,625
特別利益		
固定資産売却益	39	140
投資有価証券売却益	—	523,286
受取補償金	250,000	—
特別利益合計	250,039	523,427
特別損失		
固定資産除却損	213	16
特別損失合計	213	16
税金等調整前四半期純利益	1,337,496	3,606,036
法人税等	449,073	1,172,476
少数株主損益調整前四半期純利益	888,423	2,433,559
少数株主損失(△)	△1,122	△2,057
四半期純利益	889,546	2,435,617

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	888,423	2,433,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△474,825	3,467
繰延ヘッジ損益	△10,929	—
為替換算調整勘定	820,494	510,946
その他の包括利益合計	334,738	514,413
四半期包括利益	1,223,162	2,947,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,210,067	2,938,921
少数株主に係る四半期包括利益	13,094	9,052

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
ゼリア共済会(従業員)借入債務保証	204,394千円	224,643千円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	53,649千円	42,139千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	616,340千円	437,320千円
のれんの償却額	165,916千円	171,851千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	496,141	12.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	578,750	14.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,019,219	4,789,482	12,808,702	50,846	12,859,548	—	12,859,548
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	35	35	104,667	104,703	△104,703	—
計	8,019,219	4,789,518	12,808,738	155,513	12,964,251	△104,703	12,859,548
セグメント利益	1,547,727	407,043	1,954,771	39,967	1,994,738	△1,097,284	897,454

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,097,284千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,815,888	5,467,961	15,283,849	56,611	15,340,461	—	15,340,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	60	60	118,315	118,375	△118,375	—
計	9,815,888	5,468,021	15,283,909	174,927	15,458,836	△118,375	15,340,461
セグメント利益	3,183,912	912,716	4,096,629	57,128	4,153,757	△1,299,975	2,853,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,299,975千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	21円52銭	58円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	889,546	2,435,617
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	889,546	2,435,617
普通株式の期中平均株式数(株)	41,344,448	41,338,919

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年8月7日開催の取締役会において、株式分割、単元株式数の変更および定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

#### 1 株式分割

##### (1) 株式分割の目的

当社株式の流動性向上と株主への利益還元を目的として、株式の分割を実施するものです。

##### (2) 株式分割の概要

###### ① 分割の方法

平成25年9月30日(月曜日)最終の株主名簿に記載または記録された株主の有する株式数を1株につき1.1株の割合をもって分割いたします。

ただし、分割の結果生じる1株未満の端数株式は、これを一括売却または買受けし、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて分配いたします。

###### ② 分割により増加する株式数

分割前の発行済株式の総数	48,290,173株
分割により増加する株式数	4,829,017株
分割後の発行済株式の総数	53,119,190株
分割後の発行可能株式総数	119,860,000株

※株式分割後の発行可能株式総数は、分割以前と同数であり、今回の株式分割における定款の変更はありません。

※今回の株式分割に際しましては、資本金の額の変更はありません。

###### ③ 分割の日程

基準日公告日	平成25年9月13日(金曜日)
分割の基準日	平成25年9月30日(月曜日)
分割の効力発生日	平成25年10月1日(火曜日)

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額

項 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期 純利益金額	19円56銭	53円56銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 単元株式数の変更

(1) 単元株式数の変更の理由

投資家にとってより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と流動性の向上を図るため、単元株式数の引き下げを行うものです。

(2) 変更の内容

単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

(3) 変更予定日

平成25年10月1日(火曜日)

(注) 上記の単元株式数の変更に伴い、平成25年9月26日(木曜日)付をもって、東京証券取引所における当社株式の売買単位は1,000株から100株に変更されることとなります。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

ゼリア新薬工業株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 富永 貴雄 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内田 好久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているゼリア新薬工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ゼリア新薬工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。